

「えひめ愛顔の子ども芸術際2018」への 出品作品が完成しました。

愛媛県が主催する「えひめ愛顔の子ども芸術際2018」への出品作品が完成しました。今年度より、「森の生命」というテーマが決められ、作品を募集することになった企画です。プランを提出し、制作許可が降りれば、補助金を得て制作できるものでした。



2年生の彫刻専攻生徒5名でプランを提出し、制作をすることになりました。アイデアを練る段階から話し合いをし、作品完成予想図を作成しました。許可が出た後、木材や針金を使い、心棒作成をしました。そこから粘土をつけていきました。大きなポリバケツ何杯もの粘土を練っては付け、練っては付けの日々。夏休みも盆以外は朝から夕方まで制作に打ち込みました。

粘土では持ち運びができないため、プラスチックに加工をしました。型取りから中身の制作まで、2年生にとってこれほど大きな作品制作は初の試みでした。石膏を混ぜ、木で補強をし、プラスチックを張り込み・・・そして割り出し。修正後、着色を施し、完成させました。



6月末から始まった企画。完成する9月まで、およそ2ヶ月かかりました。暑い日々が続く中で長い期間でしたが、生徒同士でお互いに案を出しながら、最後まで試行錯誤をすることができた貴重な経験となりました。

作品サイズ 180×170×150(cm)

